

第一回連携研究会
—筑波大学数理物質科学研究科と KEK 物質構造科学研究所の連携を目指して—

2009年8月27日(木)—28日(金)
筑波大学 第一エリア 1D201 大教室

趣旨

筑波大学とKEKとは隣接しているという地理的条件にも関わらず、これまで、この条件を研究連携に充分には活かされていなかった。そこで、平成21年度の KEK 物質構造科学研究所・構造物性研究センターの発足を機に、筑波大学数理物質科学研究科と KEK 物質構造科学研究所の実質的な研究連携を深めてゆきたいと考えた。筑波大学数理物質科学研究科は物質科学研究を精力的に進めており、KEK 物質構造科学研究所は放射光科学・中性子科学・ミュオン科学を推進している。物質科学といわゆる量子ビーム科学は、車の両輪であり、両者の融合の中から新しい科学が生まれるはずである。

本研究会では、筑波大学数理物質科学研究科の研究者と構造物性研究センターの研究者に共通のテーマに対して、それぞれの観点からの講演をお願いしている。また、活発な議論を促すため、討論の時間を長めにとっている。こうした講演/討論の中から、共通の問題意識が生まれ、施設の共同利用/研究者間の共同研究、そしてつくば地区の研究の活性化、への発展を期待している。

守友 浩（筑波大学 平成21年度 KEK 大学等連携支援事業 代表）

moritomo@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

村上洋一（KEK 物質構造科学研究所 構造物性研究センター長）

主催：平成21年度 KEK 大学等連携支援事業

「加速器科学と融合した物質科学教育研究拠点の構築に向けて」

共催：戦略イニチャティブ A

「学際物質科学研究拠点」

第一回連携研究会 プログラム案

2009年8月27日(木)—28日(金)
筑波大学 第一エリア 1D201 大教室

8月27日(木)

12:30-趣旨説明 守友 浩(筑波大)

12:40-Opening 村上浩一(筑波大)研究科長、下村理(筑波大)構造物性研究所長(KEK)

13:00-構造物性研究センターとPFの概要説明(30分)村上洋一(KEK)

13:30-J-PARC 物質・生命科学実験施設の概要説明(30分)瀬戸秀紀(KEK)

14:00-14:20 休憩

講演1(磁性体、強相関、先端計測) 座長 齋藤一弥(筑波大)

14:20-14:55 松石清人(筑波大)有機無機複合型半導体の光誘起現象と超高圧物性

14:55-15:30 中尾裕則(KEK):強相関電子系における軌道混成秩序とその外場応答

15:30-16:05 守友 浩(筑波大)配列ナノ空間物質シアノ錯体の機能性探索と構造物性

16:05-16:25 休憩

16:25-17:00 足立伸一(KEK):物質・生命科学における実時間構造ダイナミクス研究

17:00-17:35 門野良典(KEK):幾何学的電子相関がもたらす異常金属相の解明

18:00-懇親会 オークラガーデン

8月28日(金)

講演2(磁性薄膜、表面) 座長 未定

9:00-9:35 雨宮健太(KEK)磁性薄膜・多層膜における表面・界面の原子構造、磁気状態、電子状態

9:35-10:10 柳原英人(筑波大)スピネル型フェライト/遷移金属強磁性ヘテロ界面での磁氣的結合

10:10-10:30 休憩

10:30-11:05 小野寛太(KEK):光電子顕微鏡による磁性超薄膜の研究

11:05-11:40 佐々木正洋(筑波大)局所仕事関数と表面物性

講演3(ナノ構造、中性子散乱) 座長 大嶋建一(筑波大)

13:00-13:35 神山崇(KEK):超高分解能粉末中性子回折による構造解析

13:35-14:10 谷本久典(筑波大)金属系ナノ構造材料に見られる特異物性とその発現機構について

14:10-14:45 大友季哉(KEK)中性子全散乱装置による水素貯蔵材料の研究

14:45-15:05 休憩

15:05-15:40 寺西利治(筑波大):無機ナノ粒子の精密構造制御と構造特異機能の創出

15:40-16:15 伊藤晋一(KEK):中性子非弾性による量子スピン系の研究

16:15-Closing 村上洋一(KEK)



会場までの交通

【公共交通機関を利用】

1. つくばエクスプレス終点「つくば」より大学循環バスに乗車(右まわりでも左まわりでも構いません)
2. 「第一エリア前」、または、「大学公園」で下車
3. 1D棟(□)をめざし、徒歩数分

【自家用車】

1. 学園東大通り沿いの中央口(□)より学内に侵入
2. 守衛の指示に従い駐車
3. 1D棟(□)をめざし、徒歩数分



